

ガンコマサ：施工要領

①:下地整正



※ 除草作業及びブスキ取り作業を行ない
ます。(抜根作業)
※ 不陸整正・下地転圧を行ないます。
*1 端部雑草防止にはハシピタンを併用してください。

②:敷き均し



※ 配袋量：2.0袋/m²(仕上り敷き厚：30mm)
※ 勾配を考慮しながら敷き均します。
※ 幹周りは、樹木直径の3倍空けます。

③:刷毛引き



※ コテ及びローラーの跡を消します。
※ 表面粒子の偏りを無くし、均一な仕上
がりにします。
※ 施工表面を軽く撫でる程度に行います。

④:基本散水



※ 必要散水量：8～9L/m²(施工厚：30mm)
※ シャワー状の柔らかい散水を全体に
まんべんなく行います。
※ 表面に水が浮き上がる程度の散水を
5～10分置きに3回行います。

⑤:掘込透水確認



※ 施工面を直接掘込み、水の浸透レベル
を目視で確認します。
※ 施工厚の2/3以上に水が浸透してい
ることを確認します。不足している場合
は再度散水を行ないます。

⑥:養生



散水養生 **マット(保温)養生**
※ 施工完了後の急激な乾燥を防ぐために
シャワー状の散水を行います。
(施工約1時間後に行う)
※ 夏季施工時には翌日も散水養生を行な
ってください。
※ 冬季施工時には初期凍害を防止するた
めに施工終了後に「マット養生」を行な
います。

※転圧工法

ガンコマサは「防草」目的のため、「散水工法」を標準工法にしておりますが、耐久性能を向上するために②:敷き均し工程、⑤:掘込み透水確認工程終了後に下記工程を行います。

②':転圧(コテorローラー)



※ コテを使って転圧を行います。
※ 植樹等の障害物がない場合は、専用
ローラーを使って転圧を行います。
※ 転圧終了後には、不陸整正(表面整
正)を行ってください。

⑤':転圧(コテorローラー)



※ コテを使って施工面を叩くように転圧を
を行ないます。
**注意:決して横に擦らないようにしてくだ
さい。変色の原因になります。**
※ 障害物がない場合は転圧ローラーを使用
してください。

●施工上の注意

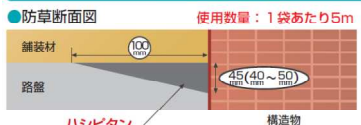
- 1.下地(路盤)転圧にはプレートタンパ・ハンドガイドローラー等の重機による転圧を行なってください。
- 2.使用するコテは木コテもしくはプラスチックコテを使用してください。金コテは使用しないでください。
- 3.降雨、降雪時には、施工しないでください。
- 4.屋内での使用はしないでください。
- 5.凍結の恐れがある為、日中の気温が氷点下になる時は、施工しないでください。
- 6.施工時及び施工後1週間以内に氷点下が予想される場合は防凍剤を使用してください。*2
- 7.夏季は散水養生を行なってください。
- 8.冬季は施工後にマット(保温)養生を行なってください。
- 9.施工後に降雨が予想される時は、シート養生を行なってください。
- 10.散水の過不足により硬化不良が起こることがあるので、ご注意ください。

*1

●端部の雑草防止にはハシピタンをご使用下さい。

NETIS登録No:SK-110023-VR

工法概要図



ガンコマサ施工



表層材の施工を行って下さい。
※ハシピタンを敷き均した上に表層材を施工して下さい。

ガンコマサ施工完了



完了です。

*2

●防凍剤は④基本散水の時に散水用の水に適量希釈して散水して下さい。

* -2℃(3%希釈)～-4℃(6%希釈)



シンケン防凍剤 SL
18kg 缶
冬季の初期凍害防止
3%～6% 希釈